

JCKスプレーガン取扱説明書

重要：本機器のご使用前に必ず2頁“警告”をお読みの上、正しくお使いください。取扱説明書は大切に保管してください。

型式

JCK — エアキャップ — フルイドチップ口径 と 供給方式 (G:重力式, S:吸上式, P:圧送式)

例：JCK-LV2-13P (JCK-LV2エアキャップ-1.3mm口径フルイドチップの圧送式)

仕様

最大供給エア圧力：0.69MPa 最大供給液体圧力：0.69MPa

フルイドインレット：G1/4 エアインレット：G1/4

表1

塗装条件：手元エアレギュレーター=HARG-510 塗料粘度=20sec(IHS) 吹付距離=200mm

供給方式	エアキャップ名称 部品番号	フルイドチップ 口径(mm)	手元エア圧力 (MPa)	エア消費量 (ℓ/min)	吐出量 (ml/min)	パターン幅 (mm)	本体重量 (g)
G:重力式	ST1 (標準)	1.3	0.2	240	135	240	290
		1.5			165		
		1.8			200		
S:吸上式	ST1 (標準)	1.3	0.2	240	95	180	
		1.5			115	190	
		1.8			140	210	
P:圧送式	LV2 (LVMP)	1.3/1.5/1.8	0.2	230	100	200	
					200	270	
					300	320	

部品リスト

表2

項番	部品番号	部品名称	使用数
1	JCK-6	リテーニングリング クミ	1
2	表1参照	エアキャップ	1
3	JCK-440-XX	フルイドチップ&ニードル セット	1
4	JCK-7	バッフル キット	1
5	JUP-8-K5	バッフルガスカート	1
6	JCK-35	フルイドインレット キット	1
7	非売品	ガンボディ	1
8	JCK-44	パターンバルブ クミ	1
9	JCK-443	エアシール&エアバルブ キット	1
10	JCK-12	エアバルブブッシング クミ	1

項番	部品番号	部品名称	使用数
11	JCK-14-K5	ニードルスプリング	1
12	JCK-13	ニードルアジャストスクリュー	1
13	JCK-463	ニードルバックン クミ	1
14	JCK-108	トリガー キット	1
15	JCK-42	チーターバルブ クミ	1
16	JCK-30	エアコネクタ	1

注) 項番5と項番11は、各々5個入りでパーツ販売しています。

項番2の例：JCK-3-ST1

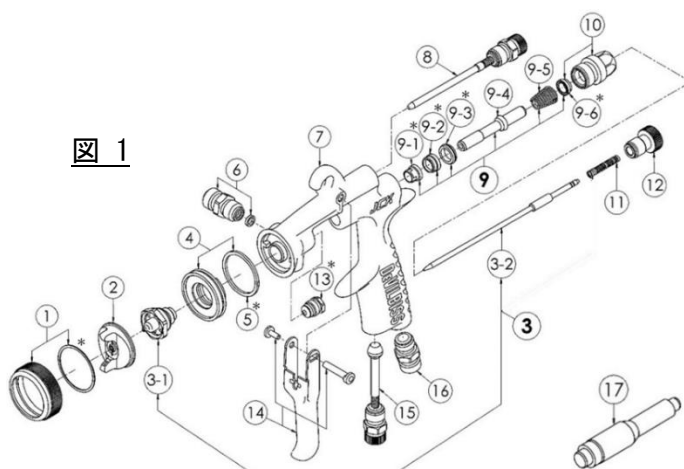
項番3の例：JCK-440-13 は1.3mm口径です。

アクセサリ


表3 ※別売り


項番	部品番号	部品名称
17	LUNA2-34	エアシール挿入工具
-	SSL-10	スプレーガンオイル(60ml)
-	JCK-100	リペアキット (図1*印を1ガン分)
-	KG-400-FA	ステンレス重力式足付 フリーアングルカップ 400ml
-	KGL-400-FA-ST	アルミアルマイト重量式足付 フリーアングルカップ 400ml
-	KR-470-2C	吸上げカップ700ml G1/4

図1



重要な安全情報を強調するために、警告、注意、および注記という言葉が使用されます。

 警告
重傷、死亡または重大な物的損害につながる危険な行為。

 注意
軽傷、製品の破損または物的損害につながる危険な行為。

注記
設置、操作もしくはメンテナンスに関する重要な情報。

 **警告**

本機器を使用する前に、以下の警告をお読みください

	溶剤および塗料。 スプレーすると、可燃性が高くなり非常に燃えやすくなります。スプレーガンを使用する前に、塗料メーカーの説明書および安全シートを必ずお読みください。		日常点検してください。 摩耗や破損している部品が無い点検してください。機器に健全性に確信が持てない状態で使用しないでください。
	マニュアルをお読みください。 操作する前に、取扱説明書に記載されている安全・操作・メンテナンスに関する全ての情報を読み、理解してください。使用者は、地域や国または保険会社などが定める換気・火災予防・作業エリアの保守管理などの規範を厳守する必要があります。		機器の誤用の危険。 機器の誤用により、機器の破損や誤作動、予期しない作動で重傷を負う可能性があります。
	火災と爆発の危険。 トリクロロエチレン、メチレンクロライド、その他のハロゲン化炭化水素溶剤を使用しないでください。これら溶剤を含む液体を使用すると、ガン本体・カップに使用されているアルミニウムと化学反応を生じ、爆発する可能性があります。使用する液体に疑問がある場合は、液体メーカーに問い合わせ、使用されている液体がアルミニウムパーツに対応している事を確認してください。		保護手袋。 機器をスプレーまたは洗浄する際は、必ず保護手袋を着用してください。
	静電気。 液体は静電気を発生させる可能性があります。機器・被塗物・および塗装領域内のすべての導電性物質を適切に接地してください。不適切な接地は危険な状態を引き起こし、火災・爆発・感電やその他の重大な傷害を引き起こす可能性があります。		保護メガネを着用してください。 サイドシールド付きの保護メガネを着用しない場合、目に重傷を負う、もしくは失明につながる恐れがあります。
	有毒な蒸気。 特定の物質は、スプレーにより毒性や刺激性を生じ、人体に害を及ぼす可能性があります。スプレーする塗料のラベルと安全シートを読み、注意事項に従ってください。不明な点がある場合は、材料の供給元に問い合わせてください。		機器を改造しないでください。 取扱説明書に書かれていないような改造をしないでください。
	ロックアウト/タグアウト。 機器のメンテナンスを行う前に、すべての電源を切断し、ロックアウト/タグアウトしないと、重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。		投射物の危険。 圧力のかかった液体や気体によって飛ばされる破片などにより負傷する可能性があります。
	ノイズレベル。 ポンプおよびスプレー装置のノイズレベルは、設定により85dBを超える場合があります。実際の騒音レベルは、希望に応じて調整可能です。機器使用中は、常に耳栓を着用して保護されることをお勧めします。		圧力を開放する方法。 必ず機器の取扱説明書に記載されている手順で圧力開放してください。
	高圧の考慮。 高圧は重大な怪我を引き起こす可能性があります。修理点検を行う前に、全ての圧力を開放してください。ガンからのスプレー、ホースの漏れ、破裂した部品により、体内に流体が入ると、極めて深刻な重症を引き起こす可能性があります。		緊急時に備え、機器をどこでどのように停止・遮断するかを把握しておいてください。
			作業者のトレーニング。 機器を操作する前に、作業者は、トレーニングを受ける必要があります。

本情報をこの機器の使用者に提供することは、雇用主の責任となります。

保守

1. ガンは最適な状態で使用できるように毎日清掃と潤滑を実施してください。
2. ガンボディの汚れは、溶剤や洗浄液を浸したウエスで拭き取ってください。ガンの破損、塗装上のトラブルにつながりますので、ガンを溶剤や洗浄液に浸さないでください。
3. ガンの使用後は、塗料等を取り除いた後、塗料経路に適切な溶剤や洗浄液を通し、残った塗料等をきれいに洗い流してください。
4. 塗料経路や塗料カップ内に溶剤や洗浄液を残さないでください。腐食や破損の原因になります。
5. エアキャップ(2)は外して溶剤や洗浄液につけておき、ブラシで汚れを落としてください。穴が詰まっている場合は、つまようじで清掃するようにし、決して針金等硬いものを使用しないでください。エアキャップの傷は、わずかでもパターンを乱す原因となります。
6. 図2⇒指示箇所には定期的に注油してください。トリガー キット(14)、パターンバルブクミ(8)、チーターバルブ クミ(15)、ニードルアジャストスクリュー(12)、エアバルブ(9-4)、ニードル(3-2)の各摺動箇所。
7. エアキャップを取付ける時に、リテーニングリング(1)のネジ部(図2⇒指示箇所)にゴミがつかないように注意し、注油してください。

※シリコンや石油留分を含まない、別売りのスプレーガンオイル“SSL-10”をお勧めします。

※指示されている箇所以外には注油しないでください。

8. ニードルスプリング(11)とエアバルブスプリング(9-5)は非シリコン系のグリスを少量塗布してください。グリスの付け過ぎは塗装上のトラブルにつながります。

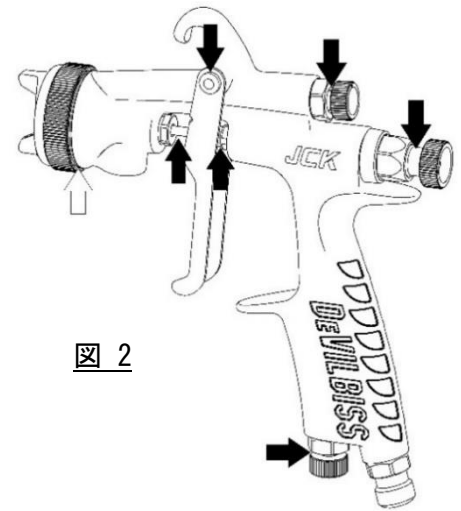


図 2

部品の交換

ガンの部品交換をされる前にガンの塗料を抜き、洗浄してください。次にガンのエア圧力を抜き、全てのホース、塗料カップを取り外してください。交換作業は清潔な場所で行い、ガンを適切に固定してください。部品交換は明記された適切な工具をご使用ください。部品交換後はガンを操作して、交換した部品が正しく機能している事をご確認ください。

フルイドチップ&ニードル セット(3)

1. パターンバルブ クミ(8)のつまみを左回し一杯に緩めます。
2. ニードルアジャストスクリュー(12)、ニードルスプリング(11)を取り外し、ニードル(3-2)を抜き取ります。
3. リテーニングリング クミ(1)、エアキャップ(2)を取り外します。
4. フルイドチップ(3-1)を19mmのレンチを使用して取り外します。
5. ガンボディ側のシール面を洗浄し、新しいフルイドチップをトルクレンチ(規定締め付けトルク: 8N-m)で締め付けます。
6. 新しいニードルとニードルスプリングを差し込み、ニードルアジャストスクリューを取り付けます。

フルイドインレット キット(6)、エアコネクタ(16)

フルイドインレット キット(6)とエアコネクタ(16)は、シール材により固定されています。破損の原因になる可能性がありますので、必要で無い場合は、これらの部品を取り外さないでください。

パターンバルブ(8)、チーターバルブ(15)

パターンバルブ(8)、チーターバルブ(15)は、つまみを左廻し一杯に緩めてから、13mmレンチを使用し分解、組付けを行ってください。

エアシール&エアバルブ キット(9)

1. ニードルアジャストスクリュー(12)とニードルスプリング(11)を取り外し、ニードル(3-2)を抜き取ります。
2. エアバルブブッシング(10)を14mmのレンチを使用して取り外します。
3. エアバルブスプリング(9-5)、エアバルブ(9-4)を抜き取ります。
4. バルブシート(9-3)をガンボディ(7)側のシール面を傷つけないよう取り外します。
5. ロックスクリュー(9-2)を7mmの六角レンチを使用して取り外します。ガンボディ側のシール面を傷つけないよう注意してください。
6. エアシール前(9-1)をガンボディ後方に押し出して取り外します。
7. エアバルブブッシング内のエアシール後(9-6)を取り外します。エアバルブブッシング側のシール面を傷つけないよう注意してください。

※取り外したエアシール&エアバルブ キットは再利用しないでください。

8. 新しいエアシール&エアバルブ キットを、傷をつけないように注意しながら、外した時と逆の手順で取り付けます。

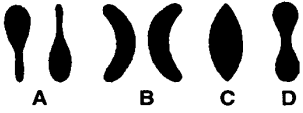

※エアシール(9-1, 3, 6)の挿入には、別売りのエアシール挿入工具(17)が便利です。

9. ニードル、ニードルスプリング、ニードルアジャストスクリューを取り付けます。

ニードルパッキン クミ(13)

1. ニードルアジャストスクリュー(12)とニードルスプリング(11)を取り外し、ニードル(3-2)を抜き取ります。
2. ニードルパッキン クミ(13)を10mmのレンチを使用して取り外します。
3. 新しいニードルパッキン クミを取り付けます。10mmレンチを使用して最初に軽く止まるまで締め、その後、1/16回転程度締め込んでください。
4. ニードルを差し込みます。※安全に注意し、ニードルがトリガーに干渉しないよう確認しながら、真つすぐ強めに押し込んで下さい。
5. ニードルスプリング、ニードルアジャストスクリューを取り付けます。

トラブルシューティング

現象	原因	対策
スプレーできない	ガンにエアもしくは塗料が供給されていない。 チーターバルブ クミ (8) のつまみが適切に調整されていない。 ニードルアジャストスクリュー (12) が適切に調整されていない。	エアと塗料の供給を確認 調整 調整
不良パターン 	A, B: エアキャップ (2) もしくはフルイドチップ (3-1) が汚れている。 A, B: エアキャップ (2) もしくはフルイドチップ (3-1) に損傷がある。 C, D: 吐出量もしくは塗料粘度が適切ではない。 C, D: 空気圧が適切ではない。	洗浄 交換 調整 調整
息つき 	塗料が不足している。 塗料継手が緩んでいる。 塗料経路が部分的に詰まっている。 フルイドチップ (3-1) が緩んでいる。 フルイドチップ (3-1) とガンボディ (7) のシート面が汚れている。 フルイドチップ (3-1) が損傷している。	補給 増し締め 洗浄もしくは交換 増し締め 洗浄 交換
ニードルパッキン (13) から塗料漏れ	ニードルパッキン クミ (13) が緩んでいる。 ニードルパッキン クミ (13) が摩耗もしくは損傷している。 ニードル (3-2) が摩耗もしくは損傷している。	増し締め 交換 交換
フルイドチップ (3-1) 先端から塗料漏れ	フルイドチップ (3-1)、ニードル (3-2) のシール部が汚れている。 フルイドチップ (3-1)、ニードル (3-2) が摩耗もしくは損傷している。 ニードルパッキン クミ (13) とニードル (3-2) が固着している。 ニードルアジャストスクリュー (12) が戻され (開き) 過ぎている。	洗浄 交換 洗浄と注油 調整

デビルビス

CFT ランスバーク 株式会社

本社 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦1-15-5
TEL : 045-785-6434 FAX: 045-785-6517
受注専用FAX: 0120-325270



<http://www.carlisleft.co.jp>



©2020 Carlisle Fluid Technologies

®DEVILBISSとJCKはカーライル・フルイド・テクノロジー社の登録商標です。

JCK_J01_21.10